

Sクリエイト 生産管理ソフトをPR 先端技術展に出品

中小製造業向け生産管理システムを開発、製造販売している(株)Sクリエイト(相模原市相模原一三三八、久保真彦社長)は七月十一日から三日間、かながわサイエンスパーク(KSP)で

開かれる第二十回先端技術見本市「テクノトランスファージンかわさき2007」に出展する。同社が開発した生産管理システム(愛称・R O M E O)は、在庫管理、受発注管理、工程管理な

どが簡単操作で正確にできるソフト。機械器具や部品製造など幅広い業種に対応し、カスタマイズが容易にできるなどの特徴も備える。○五年の本格発売以来DMのほか県内外でのデ

モンストレーション、横浜、川崎での先端技術フェアなどでPRに努めているが、資料請求や問い合わせの数が急上昇し、製品への高い評価を示している。今回の出展も普及作戦の一環。最新ソフトウェアを中心としたオフィス・ビジネスコース部門十六社のうちの一家として参加する。十三日午後三時から久保社長らによる「利益の出せる生産管理システム」と題するセミナーも行う。

同社は相模原市内の中小企業へのPRも本格化する考えで、久保知会長は「市内でもハード面の更新や入れ替えが一段落し、ソフトの充実にシフトしている中小製造業が多い。昨年は市内からの引き合いはゼロだったが、今年は五社に納入した。従業員が四十人から五十人のところばかりで、製造業の業績が上昇している表れだと思う」と景況感を話す。

さらに「できるだけ早く相模原でも先端製品の展示会を開けるようにすべき」と話し、市内の産業振興に弾みをつけるフェア開催に強い期待感をのぞかせている。